



民主緑風会
小幡 和仁 議員



公共交通の充実に向けた検討状況は

答 南北路線のLRT導入に向け国や都に働きかけることを検討している

議員 温室効果ガス排出の削減による脱炭素型まちづくりの観点から、公共交通の充実に、現在の検討状況を伺う。

市長 南北路線の必要性から、LRTの導入に向け国や都に働きかけることを検討している。調布市と合同で研究会を立ち上げること

議員 市の事務事業で契約電力の脱炭素化を100パーセント実施した場合、経費はどの程度増額するか。



民主緑風会
高谷真一朗 議員



株式会社探究学舎との連携の成果は

答 研修を受けた教員が子どもたちの好奇心を育てる新しい授業を実践している

議員 本年度から設置した五小児童分室を訪問したが狭い空間で児童たちも窮屈そうにしていた。現状をどのように捉えているか。

市長 スペースに限りはありますが、工夫によって必要な機能を確保していると認識している。

健康福祉部調整担当部長 先行する自治体等の事例なども参考に、認知症に優しいまち三鷹の取り組みを進める中で、ニーズの把握なども含め検討を重ねる。

議員 本市では若年性認知症の対応について東京都多摩若年性認知症総合支援センターでの対応を促している。市への相談状況を伺う。

健康福祉部調整担当部長 健康福祉部調整担当部長 直接医療機関を受診する人が多いため、市での把握が難しい。関係部署で連携して個別に対応している。

その他の質問 高齢者介護をめぐる諸課題について

の取り組みについて伺う。
子ども政策部長 今回の振り返りや検証等を行うとともに利用者の声も聞きながら、継続して実施したい。



日本共産党
前田 まい 議員



保健所増設または近隣市と連携強化を

答 検証の途上であり、市内への誘致、近隣市との連携は今後の議論だ

議員 コロナ感染拡大の際に身近に保健所がないことの影響は大きい。保健所体制の強化について伺う。

市長 今は市内への誘致や特定の市との連携は想定していない。今後、感染症対応を検証する中で、保健所機能の全部を市が持つ、連携して持つなど様々な議論が出てくるものと考える。

議員 コロナ対策としても、時限的な措置としても、給食費の無償化が必要だ。

企画部長 学校給食の経費負担は学校給食法で保護者負担とされており、受益者負担の観点からも適正な運用だと認識している。無償化には食材料費だけで年間7・7億円の経費が必要となり、現時点では時限的な措置も含め考えていない。

議員 都立高入試英語スピー



探究学舎の発信する成果の発表会
三鷹in 探究カンファレンス

いて、男女の性差が表れにくいジェンダーレスを着る導入してはどうか。

教育部長 定例校長会で次年度の水泳授業に向けた参考として情報提供をした。



中学校における英語授業の様子



日本共産党
栗原けんじ 議員



新川中原コミセンのプールを復活せよ

答 地域のプールの今後の需要について公共施設全体の中で検討が必要だ

議員 本年は各地域のコミユニティ・センターでプールが開放されたが、新川中原コミユニティ・センターのプールは開放されなかった。経緯を伺う。

生活環境部調整担当部長 改修に大規模工事を要する状況のうえ、他のコミユニティ・センターのプールも老朽化していることから、今後の公共施設全体のプールの在り方の検討が必要と判断し工事を見送った。

議員 来年度における当該コミユニティ・センターのプール開放について伺う。

生活環境部調整担当部長 J(キングテスト)の導入について、将来の教育、学びへの影響も鑑み、本年度の実施中止を都教委に求めるべきだ。

教育長 話す力を見取ることができるスピーキングテストは必要だ。ESAT-Jが評価テストとして、都教委に中止を要請するほど著しく合理性を欠くとは言えないと考える。



日本共産党
大城 美幸 議員



若者の定住支援に市独自の取り組みを

答 若者の力をコミユニティに生かす観点から定住の仕掛けを検討したい

議員 若者や学生の雇用や収入の環境は厳しい状況にある。若者が三鷹に住んでよかったですかと思えるような、定住対策としての若者・学生への家賃補助制度の創設を検討する考えはあるか。

企画部長 現時点で補助制度の創設は考えていない。世代を問わず定住志向が一層高まる総合的な取り組みを進めていきたい。

議員 若者や学生が三鷹のまちづくりに参加し地域の

課題解決の担い手として活躍してもらうためにも、定住対策として何らかの支援を検討できないか。

議論できるのではないかと認識している。

市長 杏林大学との間で2回開催している連携協議会には、率直に議論できる場



いのちが大事
伊沢けい子 議員



小中学校のマスク着用や黙食を見直せ

答 マスク着用は強制ではない。黙食は都のガイドラインに沿って継続する

議員 小・中学校における給食時の黙食の緩和は子どもたちの人権を守る観点から重要だ。本市でも黙食を緩和するべきと考える。

教育長 都のガイドラインに沿って給食時の黙食は継続しながら、今後のコロナの感染状況や国・都の動向を注意し、適切に対応する。

議員 小・中学校における子どもたちのマスクの着用は強制ではなく、任意であることを確認したい。

教育長 マスク着用は当然強制ではなく任意である。基本的なコロナ感染防止対策を精査し、不登校児童・生徒への支援を進めていく。

議員 候補者男女均等法が改正されても市の施策は進まない。男女共同参画への積極的な姿勢はあるのか。

市長 男性だけでなく女性も意識を変えていかなければいけない。機会を捉えて様々な啓発等に努めたい。

議員 生活福祉資金の特例貸付の返済が免除されるのは約2割と聞く。免除され

であること認識している。

その他の質問 まちづくりにおける位置指定道路の問題について

健康福祉部調整担当部長 健康福祉部調整担当部長 社会福祉協議会と市の自立支援の窓口が連携を図りながら支援する流れになる。

議員 地域の福祉と住宅資

暮らしに困る人への居住支援体制を

答 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい

議員 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい

議員 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい

議員 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい



いのちが大事
野村 羊子 議員



暮らしに困る人への居住支援体制を

答 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい

議員 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい

議員 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい

議員 福祉部門と住宅部門が連携する居住支援協議会の設置を検討したい